

和文論文誌 C 編集委員会では、情熱と進取の気概に溢れる若手研究者を育成するために、学生論文特集（2023 年 4 月号）を企画致しました。電子情報通信技術の発展は多様な研究によって支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、研究者として最先端の研究を担っています。学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、当該分野の学術活性化にとって極めて重要です。

和文論文誌 C は学生を始めとする初学者にとって電子情報通信分野の最先端の情報を分かりやすく修得できるよう、当該分野のエキスパートの研究者からの投稿を掲載する一方で、若手研究者の学術参加のための登壇門としての役割を果たしてゆく必要があると考えられます。本特集を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すと共に、様々な先端的技術に関わっている若手研究者同士が、視野を広げて新しい研究交流の契機となることを期待しています。本特集では、論文の執筆・修正を通じて、問題の本質を捉え、自らの考えを整理・検証し、その核心を十分に説明する能力を涵養できるよう配慮しながら査読報告書を作成します。是非この機会に研究成果をとりまとめ、投稿して頂くようお願い致します。なお、特に優秀と認められる論文があった場合には、「学生論文特集秀逸論文」として掲載し、学会 HP にて無償公開します。

1. 対象分野：電子情報通信に関わるエレクトロニクス分野全般

電磁界理論、レーザ・量子エレクトロニクス、光エレクトロニクス、マイクロ波、ミリ波、超音波エレクトロニクス、電子回路、電子材料、有機エレクトロニクス、電子部品、機構デバイス、半導体材料・デバイス、集積エレクトロニクス、電子管、真空・ビーム技術、電子ディスプレイ、超伝導エレクトロニクス、記録・記憶技術、電子計測・制御

2. 対象論文

学生が筆頭著者である論文に限定します。ただし、学生とは投稿時点もしくは 2022 年 3 月末時点で学生（社会人学生を含む）であることを指します。

3. 論文の執筆と取扱い

通常のと文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 頁程度、ショートノートは 2 頁程度とします。投稿の詳細は、「和文論文誌 C 投稿のしおり」https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する必要があることをあらかじめ御了承下さい。

・2021 年 4 月 1 日から非会員の投稿が可能になりました。但し、非会員掲載料が適用されます。

4. 論文投稿方法

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し、WEB 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

【学会事務局連絡先】

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課

E-mail : wabun-c@ieice.org

5. 論文投稿締切日 2022 年 6 月 7 日（火）23：59 厳守

（2022 年 6 月 8 日 0 時 0 分に受付がクローズされます）

掲載料支払い期限：2022 年 12 月 22 日（木）

特集発行 2023 年 4 月 1 日（土）

※掲載料前払い制により、上記の支払い期限が設けられておりますので御注意下さい。詳細は以下 URL を御参照下さい。

https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_6-10.html

6. 特集編集委員会

委員長 布谷伸浩（NTT エレクトロニクス）

幹事 高野恭弥（東京理科大）

委員 和文論文誌 C 編集委員（2022 年度）

7. 問合せ先

布谷伸浩

NTT エレクトロニクス株式会社

Email : nunoya-nobuhiro@ntt-el.com